

氏名
小学校

# なるほど! ワクワクながの

ながのご縁を  信都・長野市

～NAGANO検定ジュニアの過去問題にチャレンジしよう～

みなさんは、<sup>しゃかいが</sup>社会科学などで「<sup>ながのけん</sup>長野県」のことを学習します。「<sup>ながのけん</sup>長野県」の学習の中で、<sup>わたし</sup>私たちがくらししている「<sup>ながのし</sup>長野市」の自然や文化などについて発見してほしいです。

## まずは、自分で調べてみよう! 知っていることはあったかな?

	全 国	長 野 県	長 野 市
面積	km <sup>2</sup>	km <sup>2</sup> (全国 位)	km <sup>2</sup>
人口	億 万人	万人	万人
<sup>ながのけん</sup> 長野県と <sup>ながのし</sup> 長野市のシンボルはそれぞれ何かな? <sup>けん</sup> 県と <sup>し</sup> 市の歌もあるんだよ!	県の花 県の木 県の鳥 県の歌	市の花 市の木 市の歌	



まずは、<sup>ちず</sup>地図帳「<sup>にほん</sup>日本の<sup>とどうふけんべつ</sup>都道府県別の<sup>とうけい</sup>統計」を見てみよう!  
そして、「<sup>わたくしたち</sup>わたしたちの<sup>ながのし</sup>長野市」を見てみよう!

<sup>ながのけん</sup>長野県の<sup>けんちやう</sup>県庁は、「<sup>ながのし</sup>長野市」にあります。<sup>ながのし</sup>長野市は、<sup>ながのけん</sup>長野県の<sup>しちやうそん</sup>77市町村の中で<sup>じんこう</sup>人口が最も多く、<sup>せいじ</sup>政治や<sup>さんぎやう</sup>産業、<sup>ぶんか</sup>文化の<sup>ちゆうしんち</sup>中心地となっています。これから「<sup>ながのし</sup>長野市」のことを<sup>まな</sup>学んでいこう!

### Q1

どうして、「<sup>ながの</sup>長野」という<sup>ちめい</sup>地名がついたのでしょうか?

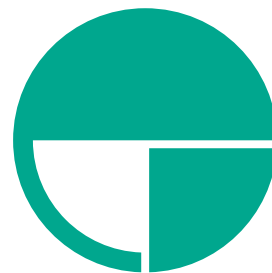
- ① <sup>なが</sup>長くて<sup>ちけい</sup>ゆるやかな<sup>ちけい</sup>地形だから
- ② <sup>むかし</sup>昔、「<sup>ながのし</sup>長野氏」という<sup>いちぞく</sup>一族が<sup>ここ</sup>ここをおさめていたから
- ③ <sup>なが</sup>長い<sup>あいたなに</sup>間何も<sup>のほら</sup>ない<sup>のほら</sup>野原だったから

答えはうらの下に

## ながのし 長野市クイズにちょうせん!

<sup>ながのし</sup>長野市の<sup>ししやう</sup>市章(マーク)は、<sup>しやうわ</sup>昭和42年(1967)につくられました。色は、<sup>いろ</sup>青竹色。この色は、<sup>いろ</sup>青い空と<sup>あお</sup>すんだ水<sup>みず</sup>をあらわす「<sup>あお</sup>青」と、<sup>き</sup>木や<sup>くさばな</sup>草花をあらわす「<sup>みどり</sup>緑」を合わせた色で、<sup>ながのし</sup>長野市の<sup>ゆた</sup>豊かな<sup>しぜん</sup>自然をあらわしています。

<sup>ながのし</sup>長野市は、<sup>ぜんこく</sup>全国で<sup>いちばん</sup>一番<sup>ひやうこう</sup>標高が<sup>たか</sup>高い<sup>けんちやう</sup>県庁所在地です。<sup>し</sup>市内には<sup>ちくまがわ</sup>千曲川と<sup>さいがわ</sup>犀川の<sup>いっぎやう</sup>2つの<sup>いっぎやう</sup>一級河川が<sup>なが</sup>流れ、<sup>ほくせいぶ</sup>北西部には<sup>みやうこう</sup>妙高戸隠連山<sup>こくりつこうえん</sup>国立公園の<sup>いづなやま</sup>飯縄山、<sup>とがくしやま</sup>戸隠山、<sup>くろひめやま</sup>黒姫山などの<sup>ほくしん</sup>北信五岳が<sup>さび</sup>そびえる、<sup>ひと</sup>人と<sup>しぜん</sup>自然が<sup>ちやうわ</sup>調和した<sup>とし</sup>都市です。



ながのし 市章  
長野市の市章



### Q2

<sup>ししやう</sup>市章の<sup>かたち</sup>形(デザイン)は、どのようなことをあらわしているでしょう。

- ① <sup>ながのし</sup>長野市の<sup>かんじ</sup>漢字である「<sup>なが</sup>長」の字
- ② <sup>かたかな</sup>かたかなの「<sup>な</sup>ナガノ」の「<sup>な</sup>ナ」の字

答えはうらの下に

長野市をくわしく知るために検索してみよう!



NAGANO検定 検索



ながのキッズサイト 検索

## ながの し ちめい がくめい しよくぶつ 長野市の地名が学名になった植物

トガクシソウは明治17年(1884)に戸隠山で最初に発見された、日本固有の植物です。学名は、日本人が初めて命名したもので、長野市の天然記念物に指定されています。

成長すると30cmほどになり、5～6月にかけて淡い紫色の花を咲かせます。本州の中部から東北地方に分布し、日本海側の雪が多い場所です。長野市では戸隠山や鬼無里地域で自生していましたが、近年は環境の変化などが原因で激減し、野生種を見ることは難しくなっています。市内小学校のうち南部小学校の校章は、この花のデザインを用いています。



トガクシソウ



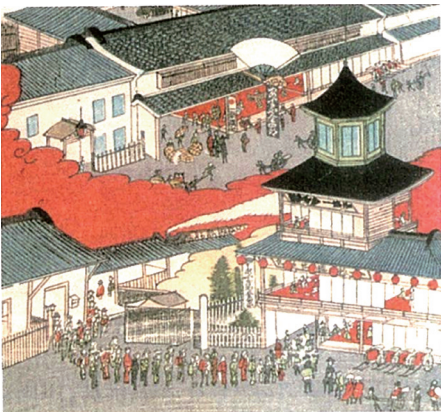
Q3

トガクシソウは戸隠山で最初に発見された日本固有の植物ですが、有名な別名は何でしょうか。

- ① トガクシショウマ
- ② トガクシサクラ
- ③ トガクシズラン

【NAGANO検定ジュニア第3回(2018年度)出題】 答えは下に

## てつ どう かい ぎょう 鉄道の開業



長野停車場(扇屋の広告 長野市立博物館蔵)

長野に鉄道が開通したのは、明治21年(1888)5月のことです。区間は長野から直江津までで、当初は直江津線と呼ばれていました。同年8月には上田、12月には軽井沢まで延長され、明治26年(1893)には直江津から東京の上野を結ぶ全線が開通しました。また名称も、明治28年(1895)には「信越線」、大正3年(1914)には「信越本線」と改められました。

長野・東京は歩いて5～6日かかっていましたが、鉄道の開通により約9時間で行けるようになりました。

明治33年(1900)11月には、篠ノ井と西条を結ぶ篠ノ井線がつくられ、明治35年(1902)に塩尻まで開通して、現在の篠ノ井線が全通しました。

Q4

新幹線開通のために長野駅も建てかえることになり、それまで善光寺をイメージさせ、長年親しまれた駅舎が平成8年(1996)7月に解体されました。それまでの駅舎はどんな形だったでしょうか

- ① 仏閣型
- ② 時計台型
- ③ 教会型

【NAGANO検定ジュニア第7回(2022年度)出題】 答えは下に



答え Q1 ① Q2 ① Q3 ① Q4 ①